

2019年5月10日

加盟団体各位

東京都アーチェリー協会

第74回 国民体育大会アーチェリー競技

東京都予選会実施要項（改訂版）

第74回（2019年度）国民体育大会アーチェリー競技の東京都代表選手選考のための予選会を次のとおり実施する。

○ 成年の部

I. 予選会

1. 第一回予選会

（1）日時及び場所

6月9日（日） 8：30集合 於 駒沢第一球技場

（2）競技方法

70mラウンド（72射）

（3）参加資格

- ① 日本国民もしくは永住者であって、東京都内に在住または在勤する者およびふるさと制度の適用が可能な者。
※在住者については、本年4月30日以前から都内の住民登録地に在住の者。
※ふるさと制度とは出身中学または高校の所在地から国民体育大会に出場できる制度。（東京都の中学/高校を卒業していれば適用可能）
※成年には「在学」という区分はありませんので学生の方はご注意ください。
- ② 昨年もしくは一昨年の国民体育大会（道府県の予選会も含む）に東京都以外の道府県から選手及び監督として参加していない者。
ただし、今春学校を卒業した者、結婚・離婚によって住所を変更した者およびふるさと制度等の活用者を除く。
- ③ 本年の東京都以外の道府県の国民体育大会予選会に参加していない者。
- ④ 2001年（平成13年）4月1日以前に生まれた者。

※参加資格の詳細は日本スポーツ協会のHP参照

<http://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid/191/Default.aspx>

（4）参加申込み

5月26日（日）までに別添の申込書に以下の事項を記載し下記あてに申し込むこと。

- ① 氏名、所属、生年月日、全ア連登録番号、スターバッジ（種類、色、番号）
- ② 種別（成年男子、成年女子）および参加資格（都内在住、都内在勤もしくはふるさと制度）

（申込先）

東京都アーチェリー協会 強化部会 川上 憲二

E-mail: tokyo.archery@gmail.com

2. 最終予選会

(1) 日時及び場所

7月7日(日) 8:30集合 於 小金井公園アーチェリー場

※悪天候等、やむを得ない事情で同日実施ができない場合は次のとおり実施する。

ただし、この場合の選手決定は別紙に記載の方法で行う。

7月14日(日) 8:30集合 於 小金井公園アーチェリー場

(2) 競技方法

70mラウンド×2回(144射)

(3) 参加資格

上記I-1-(3)と同様

(4) 参加申込み

6月21日(金)までに別添の申込書に以下の事項を記載し、下記あてに申し込むこと。

- ① 氏名、所属、生年月日、全ア連登録番号、スターバッジ(種類、色、番号)
- ② 種別(成年男子、成年女子)および参加資格(都内在住、都内在勤もしくははふるさと制度)
- ③ 2018年8月20日から2019年6月16日までの全日本アーチェリー連盟公認の70mラウンドの試合(第一回予選会も含む)の記録(72射)のうち最も良い記録(以下、成年の部における「申請記録」という)
※申請記録については以下の項目を明記すること。
 - ・得点(72射の合計と36射毎の内訳)
 - ・大会名、会場名、開催日

(申込先)

東京都アーチェリー協会 強化部会 川上 憲二 あて

E-mail: tokyo.archery@gmail.com

(5) 出場選手決定方法

男子・女子ともに申請記録の上位12位までの選手を出場選手とする。

※申請記録が同点の場合は12名を超えて選出する場合もある。

II. 選手決定方法(7月7日の最終予選会が実施できなかった場合の決定方法は別紙)

(1) 東京都代表選手(関東ブロック大会、本国体の出場選手)

最終予選会の成績上位3名を東京都代表選手に選出する。

(2) 補欠選手(代表選手がケガ等により出場不可となった場合の代替選手)

最終予選会の成績第4位の選手を補欠選手とする。

(3) 育成選手(育成を目的として強化練習、強化試合、合宿等に参加する選手)

最終選考会に参加した選手のうち正選手・補欠選手に続く

成績順の20歳未満(U-20)選手から上位2名を育成選手とする。

※育成選手はあくまでも今後の強化が目的なので、関東地区大会、本国体への出場対象とはならない。

※育成選手の年齢は2019年4月1日時点の年齢を基準とする。

※意思確認を行い育成選手としての選出を希望しない選手が居た場合は順次繰り下げて選出する。

【特例措置】

なお、特例として日本代表選手としてオリンピック、世界選手権、アジア大会、ユニバーシアード等の全ア連国際大会派遣事業に参加する者がやむを得ない事由により本予選会に出場できない場合はその申請記録をもとに選出できることとする。

○ 少年の部

I. 予選会

1. 第一回予選会

(1) 日時及び場所

6月9日(日) 8:30集合 於 駒沢第一球技場

(2) 競技方法

70mラウンド(72射)

(3) 参加資格

- ① 日本国民もしくは永住者であって、東京都内に在住または東京都内の学校に通学する者、上記以外の者で学校教育法第1条に規定する学校(中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校)に1年以上在籍し、在留資格が高等学校以上は「留学」、中学3年生は「家族滞在」である者。
- ② 昨年もしくは一昨年の国民体育大会(道府県の予選会も含む)に東京都以外の道府県から選手として参加していない者。
ただし、今春学校を卒業した者、結婚・離婚によって住所を変更した者および一家転住に係る者を除く。
- ③ 本年の東京都以外の道府県の国民体育大会アーチェリー競技大会予選会に参加していない者。
- ④ 2001年4月2日から2004年4月1日までに生まれた者および2004年4月2日から2005年4月1日までに生まれた中学3年生の者。

(4) 参加申込み

5月26日(日)までに別添の申込書に以下の事項を記載し、下記あてに申し込むこと。

- ① 氏名、所属、生年月日、全ア連登録番号、スターバッジ(種類、色、番号)
- ② 種別(少年男子、少年女子)および参加資格(都内在住もしくは都内在学)
(申込先)
東京都アーチェリー協会 強化部会 川上 憲二 あて
E-mail: tokyo.archery@gmail.com

2. 最終予選会

(1) 日時及び場所

7月7日(日) 8:30集合 於 小金井公園アーチェリー場

※悪天候等、やむを得ない事情で同日実施ができない場合は次のとおり実施する。

ただし、この場合の選手決定は別紙に記載の方法で行う。

7月14日(日) 8:30集合 於 小金井公園アーチェリー場

(2) 競技方法

70mラウンド×2回(144本)

(3) 参加資格

上記I-1-(3)と同様

(4) 参加申込み

6月21日(金)までに別添の申込書に以下の事項を記載し、下記あてに申し込むこと。

- ① 氏名、所属、生年月日、全ア連登録番号、スターバッジ(種類、色、番号)
- ② 2019年3月1日から2019年6月16日までの全日本アーチェリー連盟公認の70mラウンドの試合(第一回予選会も含む)の記録のうち最も良い記録(以下、少年の部における「申請記録」という。)

※2019年3月8日～10日に行われる第2回春季強化合宿の参加者は
その記録会の成績も申請記録の対象とすることができる。

※申請記録については以下の項目を明記すること。

- ・得点（72射の合計と36射毎の内訳）
- ・大会名、会場名、開催日

（申込先）

東京都立東高等学校 小沼 克己 あて

E-mail: tokyojarchery@yahoo.co.jp

（5）出場選手決定方法

男子・女子ともに申請記録の上位12位までの選手を出場選手とする。

※申請記録が同点の場合は12名を超えて選出する場合もある。

Ⅱ. 選手決定方法（7月7日の最終予選会が実施できなかった場合の決定方法は別紙）

（1）東京都代表選手（この中から本国体出場選手を決定する）

最終予選会の成績上位7名程度を東京都代表選手に選出する。

（2）国体関東ブロック大会出場選手

最終予選会の成績上位3名を選出する。

（3）国体本大会出場選手

7～8月に開催される以下の試合および記録会の70Mラウンド記録（72本）のうち、
上位3回の合計記録の成績上位3名を選出する。

- ① 本協会主催の70Mラウンド試合（最終予選会も含む。）
- ② 本協会主催の東京都代表選手の合同練習において実施する記録会
- ③ 国体関東ブロック大会
- ④ その他、事前に本協会強化部会が認める試合

【特例措置】

なお、上記（1）、（2）については特例として日本代表選手としてオリンピック、世界選手権、アジア大会、ユニバーシアード等の全ア連国際大会派遣事業に参加する者がやむを得ない事由により本予選会に出場できない場合はその申請記録をもとに選出できることとする。

以 上

【本件照会先】

東京都アーチェリー協会 川上 憲二

E-mail: tokyo.archery@gmail.com

国体出場選手選考方法

◇7月7日の最終予選会が実施出来た場合（通常時）

【成年の部】

最終予選会の成績上位3名を東京都代表選手に選出する。

【少年の部】

7～8月に開催を予定している以下の対象試合・記録会の70Mラウンド記録（72本）のうち、上位3回の合計記録の成績上位3名を選出する。

なお、日本代表選手（ジュニア等も含む）については、対象試合・記録会と日本代表の行事が重なった場合、日本代表の同一期間中の試合・記録会の記録も対象とする。

また、その他、対象試合・記録会と上部団体主催の試合が重なった場合等、本協会強化部会が追加で当該試合の記録も認める場合がある。

◇7月7日の最終予選会が実施できなかった場合

【成年の部・少年の部とも共通】

(1) 国体関東ブロック大会出場選手

最終予選会の申請記録上位3名を正選手、申請記録4位を補欠選手とする。

(2) 東京都代表選手（この中から本国体出場選手を決定する）

国体関東ブロック大会出場選手＋7月14日の第1回記録会の成績上位4名（合計8名）を東京都代表選手に選出する。

(3) 国体本大会出場選手

7～8月に開催される以下の試合および記録会の70Mラウンド記録（72本）のうち、上位2回の合計記録の成績上位3名を選出する。

①本協会主催の70Mラウンド試合

②本協会主催の東京都代表選手の合同練習において実施する記録会

③国体関東ブロック大会

④その他、事前に本協会強化部会が認める試合

なお、日本代表選手（ジュニア等も含む）については、対象試合・記録会と日本代表の行事が重なった場合、日本代表の同一期間中の試合・記録会の記録も対象とする。

また、その他、対象試合・記録会と上部団体主催の試合が重なった場合等、本協会強化部会が追加で当該試合の記録も認める場合がある。

○対象試合・記録会（予定）

7 / 7 (日)	国体最終予選会（小金井）	70Mラウンド×2回
7 / 14 (日)	第1回記録会（小金井）	70Mラウンド
21 (日)	強化合宿（山梨・忍野）	70Mラウンドの記録会実施
8 / 4 (日)	強化試合（小金井）	70Mラウンド
8 / 4 (日)	関東大会（群馬）	70Mラウンド
8 / 8 - 10	インターハイ（熊本県）	70Mラウンド
18 (日)	強化練習（光が丘）	70Mラウンドの記録会実施
25 (日)	関東ブロック大会（千葉）	70Mラウンド

以上